

こころざし

発行・編集
深谷市教育委員会
〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11-1
TEL:048-572-9578 FAX:048-580-3260
E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

子供たちの未来を考える ～深谷市立小中学校の適正規模・適正配置について～

深谷市教育委員会
教育長 片桐 雅之

日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、深谷市では少子化による児童生徒数の減少や学校施設の老朽化などにより、学校を取り巻く環境が大きく変化しております。

学校は、単に子供たちが学力を身に付けるだけでなく、多様な考えに触れながら社会性や協調性を育むことができる大切な場です。また、地域の皆様にとっても長い歴史や思い出が積み重ねられたかけがえのない存在です。

こうした学校への想いを大切にしながら、将来にわたって子供たちによりよい教育環境を確保していくことは、私たち大人に課せられた重要な責務であると考えます。

教育委員会では、子供たちがいきいきと学び、互いに高め合うことのできる教育環境を整えるため、学校の適正規模・適正配置に関する取組を進めているところです。

この取組を進めるにあたっては、学校が地域コミュニティの核となる大切な存在であることを十分に踏まえ、保護者や地域の皆様、学校関係者のご意見を丁寧に伺いながら、皆様とともに考え、相互理解を深めつつ、慎重かつ着実に進めてまいります。

子供たちの輝かしい未来のため、よりよい学びの環境づくりに全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

深谷市では、子供たちにとってよりよい学びの環境を将来にわたって確保していくため、市全体の学校の在り方について、市民の皆さまとともに考えてまいります。

そこで今号では、この重要な課題に向けて本市の学校教育における現状について説明いたします。

教育環境の充実に向けた様々な取組

① 小・中学校給食費の無償化

- 本年度4月から小・中学校の給食費を無償化
- 子育て世帯の経済的負担を軽減



② 学校施設の環境改善

- 小中学校の体育館へ空調設備を導入
- 小中学校トイレの洋式化



③ 一人一台端末を活用した学びの充実

- 「ドリルパーク」等の学習ツールを活用
- 基礎・基本の定着や、苦手分野の克服をサポート



④ ALTの全校配置で英語教育を充実

- 小学1年生から英語教育を実施!
- 市立幼稚園でALTと「英語遊び」を実施!
- コミュニケーションを基盤とした授業を実施



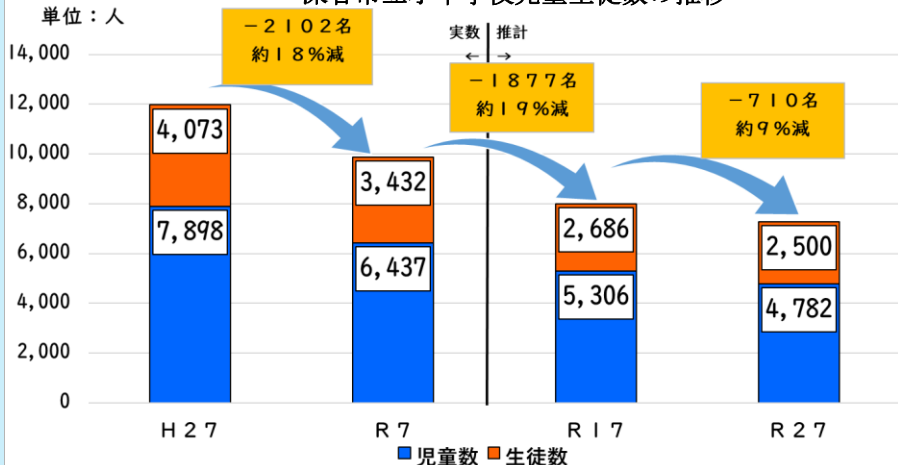
⑤ 小学校における登下校時の暑さ対策

- ミスト付きハンディファンの配付
- 夏季に限り、登下校時に帽子の着用を認めています。



<児童生徒数の減少>

(児童生徒数) 深谷市立小中学校児童生徒数の推移



令和8年度の小規模校



<児童生徒数の減少による課題>

○学校の規模



複式学級を
編制する
可能性

↓
教育の質の
確保が困難

※複式学級は、複数の学年を1つのクラスとするため
1人の教員が複数の学年を同時に指導します。

複式学級編制基準

小学校⇒2つ以上の学年を合わせても16人以下
中学校⇒2つ以上の学年を合わせても8人以下

※小学校は第1学年の児童を含む場合2つ以上の
学年を合わせても8人以下

○協働的な学び（話し合い活動）



⇒子供同士が話し合って考えをまとめるなどの
協働的な学びが難しくなる。

○部活動

団体競技では
チームが編成できない



部活動の地域展開

⇒令和10年度より拠点校方式で実施予定
※深谷市を東西南北の4ブロックに分け、
複数の学校で1つのチームを編成

深谷市立小中学校の適正規模・適正配置

<令和8年度 教育委員会の主な取組>

4月～5月
学校運営協議会への
説明及び意見聴取

6月～11月
児童との意見交換
(ふっかEミーティング)

1月から2月
PTA役員との
意見交換

6月～11月
教職員との
意見交換

12月
保護者・教職員等
アンケート